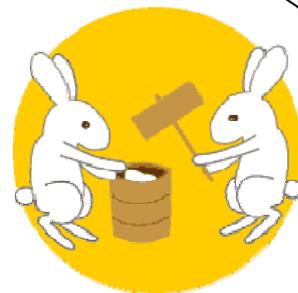


管理者 古村久美子

「スマイルゆい」おかげさまで9周年を迎えました

今から9年前の10月1日「居宅介護支援事業所スマイルゆい」は誕生しました。ケアマネ一人で5人の利用者さんからのスタートでした。自宅の一室で地域に根ざした、利用者さんの立場に立った支援を志し奮い立っていました。一方で、一人で運営していく心細さもありました。地域包括ができた時には多くの要支援者を手放すことになりましたが、気を取り直し、自ら道を切り開いていこうと踏ん張りました。



従業員も徐々に増え、みんなに支えられながらここまで来ることができました。最近では医療機関、関係事業者様、今まで築きあげたネットワークから次々に新規のご利用者様を紹介いただいております。関係者の皆様大変お世話になっております。この場をお借りしてお礼を申し上げます。年頭の広報紙でもご案内しましたが、スタッフはみな向上心に溢れ、利用者様の為に心を砕く、優秀なケアマネージャーです。チームワークにも自信があります。経験を積んだ当事業所にどうぞ、お任せください。

介護保険の気になる数字

8月に2011年度の介護給付費実態調査(速報)が

公開されました。2011年度に介護サービスを利用された方は、517万人じわりじわりと増加しています。

また、2010年の1年間に要介護認定を受けた人のデータを基に、高齢者の日常生活自立度Ⅱ以上の認知症があると認定される高齢者を算出したところ、認知症の高齢者は2010年時点で、280万人(65歳以上人口の9.5%)で、2012年は305万人(9.9%)になったと推計しており、65歳以上人口の実に10人に1人が認知症という値になりました。これは、政府の過去の推計を大きく上回るペースで増加しており、今後の施策にも影響しそうです。

介護の利用者517万人に！

認知症が推計300万人超え



～～ 居宅介護支援事業所スマイルゆいのホームページが新しくなりました！ ～～

～～～

ぜひ、一度ご覧ください。写真などもアップしてマメに更新しています。

URL : <http://www.smile-yui.com>

スマイルゆい

検索

検索エンジンで「スマイルゆい」でも見ることができます。



家庭での看取り ～親の人生を理解して受けとめることができた

【特別寄稿】 ～ご両親とも自宅で看取られた娘さんに介護の日々について貴重な経験を語っていただきました～

我が家では、両親を家庭で看取りました。平成22年10月に父を93歳で、平成24年8月に母を91歳で送りました。父は88歳で膀胱癌を発症し、92歳までのおよそ4年間に5回の内視鏡手術を施していただきました。しかし、その後は膀胱出血等で徐々に体力が低下していきました。そのため、亡くなる年の1月に、包括支援センター、訪問看護ステーション及び居宅介護事業所のスタッフと家族とで、今後の看護・介護の計画を協議しました。その際、訪問看護師の方から静かな口調で「看取りもします。」と告げられました。その時私は、父親が最期を迎えることについて、ある程度の覚悟は持っていましたが、まだ具体的に考えたくなかったので「看取り」という言葉に少しの衝撃を受けました。



その後、2月に緊急入院しましたが、奇跡的に回復しましたので、5月から6月にかけて約1ヵ月間自宅で看護・介護生活となりました。体制としては、訪問看護師さんは毎日来ていただき、お医者さんは2回/週で無事過ごすことができました。その後また入院となり、9月末に退院することになりました。その時は、一か月以内に看取ることになるだろうという予測の上での退院でしたが、既に自宅での生活は経験済みでしたので、本人を含め家族の皆が落ち着いて日々を過ごすことができました。息を引き取る2時間前まで家族と話をすることができ、最後まで気力を持ち続けてくれました。こうしたことができたのは、まず第一に、優秀な専門スタッフの方々の看護・介護があったおかげですが、介護者である私が介護に専念できるように、家族が家事の一部を担ってくれたことも大きいと思っています。また、介護の担当者(ケアマネージャーとヘルパー)が近隣の方であったのも本人にとって、心強く安心であったと思います。



近年は病院で最期を迎えることが多いようです。私の両親のようなケースはあまり多くはないでしょうが、決して特別なことではなく、自然なことだったと実感しています。そのうえ、送った方の私にとっても、最期の貴重な時間を共にすることによって、親の人生を理解して受けとめることができ、自分とのつながりも妙に納得できたような気持ちにさせてもらいました。



最後になりますが、私の両親の看取りについては、さらに波紋がひろがっています。今回紹介するには、そのことが起こってから日数が経過していないので、次の機会にぜひ紹介させていただこうと思います。

＜講演会のお知らせ＞



明るいシニアライフを作る会「結」 大分での“多世代居住型コミュニティハウス”説明会

～支えあいながら、自立して生きる場所を求めて～

第1回 平成24年10月13日(土) 13:30～16:30

場所:大分市田市民行政センター会議室 大分市玉沢 743-2

第2回 平成24年11月10日(土)13:30～16:30

場所:別府市中央公民館(市民会館別館 第7会議室)
別府市上田の湯町6番37号

第3回 平成24年11月17日(土) 13:30～16:30

場所:アートプラザ 研修室 大分市荷揚町3番31号



お問い合わせ先 おおいたNPO研究所 担当:古村・後藤
電話:097-574-5268 携帯:090-7396-2632(古村)

